

クチナシ

【 区画②(148, 151), 区画⑨(175) 】

学名	<i>Gardenia jasminoides</i> Ellis	分類	アカネ科クチナシ属
分布	東海地方～沖縄	樹高	0.5～2mの常緑低木

〈 特徴等 〉

名前の由来	・ 果実が熟しても裂けないことが「口無し」の由来とされる。		
葉の特徴	① 常緑・落葉	② 広葉・針葉	
	③ 対生・互生	④ 単葉・複葉	⑤ 鋸歯縁・全縁
開花等	・ 6～7月に、白い花を開く。		
結実等	・ 秋に、黄赤色の果実をつける。		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 果実を染料または薬用にする。 ・ 黄色の着色料として、たくあんなどの食品に使われる。 		

〈 写真 〉

		
樹木 (4/3)	樹皮 (4/3)	葉の付き方 (4/3)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実 (実) (/)

〈 参考文献 〉 牧野富太郎(2017)『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p.978.

林 将之(2018)『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p.156.